

図書館だより

今月の新刊を紹介します。

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：10:00～18:00

休館日：10/3(月)・11(火)・17(月)・24(月)・27(木)・31(月)

財布は踊る

Dances with the Wallet

(原田ひ香、新潮社)



専業主婦のみづほは、夢を実現するために生活費を切り詰め、毎月2万円を貯金していた。努力が実り、夢を実現した喜びも束の間、夫に200万円以上の借金があることが発覚して…。

その本は

(又吉直樹、ヨシタケシンスケ、ポプラ社)



本の好きな王様が、2人の男を城に呼び、「世界中をまわって「めずらしい本」の話を聞いてきてくれ」と言った。旅に出た2人の男は…。又吉直樹とヨシタケシンスケによる、笑えて泣けて胸を打たれる、本にまつわる物語です。

海底二万マイル

(ジュール・ヴェルヌ、山本知子、ポプラ社)



世界の海をさわがせる謎の怪物をたおすため、軍艦に乗り込んだアロナクス。それが未知なる冒険のはじまりになるとは知らず…。世界中の海をめぐる冒険物語の新訳です。マップや巨大潜水艦・ノーチラス号の図解付き。

がっこうのおばけずかん

げたげたばこ

(斉藤洋、講談社)



がっこうにはこわ～いおばけがいっぱいいます。でも、このお話を読めばだいじょうぶ！「げたげたばこ」をはじめ、「リアルがくげいかい」「まよなかのおばけもじ」など、がっこうのこわいおばけの話全7話を収録しています。

紹介文：TRC MARC

お知らせ

▶秋の読書週間 10/27(木)～11/9(水)

▶テーマ展示「秋を愉しむ」「おいしい あき みーつけた♪」

▶10/28(金)～ ブラインドブックフェア

*ブラインドブックフェアとは、本の題名がわからない状態で貸し出すイベントです。本に添えられたメッセージを手がかりに選んでみてください。

▶読みたい本が図書館にないときは、リクエストサービスをご利用ください。

▶図書館にご来館の際は、マイバッグをお持ちください。

歴史探訪

油屋宇吉の道標

南宮大社の東の三叉路に、「右 たる井道」「右いせ やうらう(ようろう) / たかた(たかだ) 道」「左 たる井 / ゼンく(ほうじ) (ぜんこうじ) / 多尔ぐ(みにぐみ) 道」「天保十一庚子年(一八四〇)六月建之垂井油屋卯(宇)吉」と書かれた道標があります。善光寺や谷汲などの地名が示されていることから、当時の旅の目的として、社寺めぐりが盛んであったことを示しています。

この道標を建てた油屋宇吉は、垂井宿で油を扱う商家でした。国登録有形文化財となっている垂井宿の小林家住宅は、もとは油屋宇吉家のものです。油を扱っていたからか、この建物の特徴として、火事の際、類焼を防ぐために街道沿いに面した格子戸前の軒下に、濡らしたむしろをつるすための金具がついています。この風情のある建物から、垂井宿が栄えていた頃の商家の姿を垣間見ることが出来ます。



▲南宮大社前の道標

『垂井町史』通史編・史料編

タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館
で販売中 各4,000円